

厚生委員会報告資料

令和 7 年 1 2 月 1 0 日

報告事項件名	頁
1 令和 7 年度高齢者施設・障がい者（児）施設等に対する物価高騰支援を 目的とした区独自の特別給付金支給事業（下半期分）の実施等について・・・	2
2 足立区介護保険事業者支援施設使用者選定等委員会の選定結果について・・・	4
3 令和 7 年度介護保険業務委託評価委員会の評価結果について・・・・・・・・	7

(福 祉 部)

厚生委員会報告資料

令和7年12月10日

件名	令和7年度高齢者施設・障がい者（児）施設等に対する物価高騰支援を目的とした区独自の特別給付金支給事業（下半期分）の実施等について																																															
所管部課名	福祉部 障がい福祉課、高齢者施策推進室 介護保険課 衛生部 足立保健所 中央本町地域・保健総合支援課																																															
内 容	介護保険サービス事業所・障がい福祉サービス等事業所を対象とする物価高騰支援を目的とした特別給付金支援事業の令和7年度下半期分の実施及び令和7年度上半期分の実績について、以下のとおり報告する。																																															
	1 実施概要																																															
	(1) 令和7年度上半期は、物価高騰により、厳しい運営を強いられている区内介護・障がい福祉サービス事業所を対象に、物価高騰負担の1／2支援となるよう、区独自の特別給付金を支給した。																																															
	(2) 令和7年度に入り、直近6か月（令和7年3月から令和7年8月）の物価上昇率は令和7年度上半期算定分を上回っており、今後も物価上昇は続くことが予想されることから、下半期も引き続き特別給付金支給事業を実施する。																																															
	2 事業規模																																															
	(千円)																																															
	<table><tr><th rowspan="2">定員 区分</th><th colspan="3">令和7年度上半期</th><th colspan="3">令和7年度下半期</th></tr><tr><th>介護</th><th>障がい</th><th>計</th><th>介護</th><th>障がい</th><th>計</th></tr><tr><td>予 算 額</td><td>139,849</td><td>45,442</td><td>185,291</td><td>158,801</td><td>53,931</td><td>212,732</td></tr><tr><td>事業所数</td><td>1,026</td><td>445</td><td>1,471</td><td>1,043</td><td>479</td><td>1,522</td></tr><tr><td>補 助 額 —事業所あたり最大</td><td colspan="2">714</td><td></td><td colspan="2">804</td><td></td></tr><tr><td>補 助 額 —事業所あたり最小</td><td colspan="2">58</td><td></td><td colspan="2">65</td><td></td></tr></table>							定員 区分	令和7年度上半期			令和7年度下半期			介護	障がい	計	介護	障がい	計	予 算 額	139,849	45,442	185,291	158,801	53,931	212,732	事業所数	1,026	445	1,471	1,043	479	1,522	補 助 額 —事業所あたり最大	714			804			補 助 額 —事業所あたり最小	58			65		
	定員 区分	令和7年度上半期			令和7年度下半期																																											
		介護	障がい	計	介護	障がい	計																																									
	予 算 額	139,849	45,442	185,291	158,801	53,931	212,732																																									
事業所数	1,026	445	1,471	1,043	479	1,522																																										
補 助 額 —事業所あたり最大	714			804																																												
補 助 額 —事業所あたり最小	58			65																																												
3 令和7年度上半期等の実績について																																																
(1) 介護サービス事業者分支給実績																																																
<table><tr><th></th><th>令和5年度 上半期</th><th>令和5年度 下半期</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度 上半期</th></tr><tr><td>事 業 者 利 用 率</td><td>81.4%</td><td>83.1%</td><td>84.7%</td><td>82.6%</td></tr><tr><td>予算現額</td><td>231,830 千円</td><td>155,525 千円</td><td>238,404 千円</td><td>139,849 千円</td></tr><tr><td>執 行 額</td><td>212,200 千円</td><td>143,710 千円</td><td>219,663 千円</td><td>123,255 千円</td></tr><tr><td>執 行 率</td><td>91.5%</td><td>92.4%</td><td>92.1%</td><td>88.1%</td></tr></table>								令和5年度 上半期	令和5年度 下半期	令和6年度	令和7年度 上半期	事 業 者 利 用 率	81.4%	83.1%	84.7%	82.6%	予算現額	231,830 千円	155,525 千円	238,404 千円	139,849 千円	執 行 額	212,200 千円	143,710 千円	219,663 千円	123,255 千円	執 行 率	91.5%	92.4%	92.1%	88.1%																	
	令和5年度 上半期	令和5年度 下半期	令和6年度	令和7年度 上半期																																												
事 業 者 利 用 率	81.4%	83.1%	84.7%	82.6%																																												
予算現額	231,830 千円	155,525 千円	238,404 千円	139,849 千円																																												
執 行 額	212,200 千円	143,710 千円	219,663 千円	123,255 千円																																												
執 行 率	91.5%	92.4%	92.1%	88.1%																																												
※ 事業者利用率＝利用事業所数÷対象事業所数×100																																																

(2) 障がい福祉サービス等事業者分支給実績

	令和5年度 上半期	令和5年度 下半期	令和6年度	令和7年度 上半期
事業者 利用率	96.4%	97.0%	96.0%	94.3%
予算現額	72,380 千円	48,990 千円	75,714 千円	45,442 千円
執行額	69,030 千円	48,050 千円	72,501 千円	44,575 千円
執行率	95.4%	98.1%	95.8%	98.1%

※ 事業者利用率＝利用事業所数÷対象事業所数×100

4 今後の方針

令和8年度の支援については、東京都の動向も留意し、実施の可否や時期を検討していく。

厚生委員会報告資料

令和7年12月10日

件名	足立区介護保険事業者支援施設使用者選定等委員会の選定結果について													
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課													
内容	<p>足立区介護保険事業者支援施設である特別養護老人ホーム中央本町杉の子園及び高齢者在宅サービスセンター中央本町の使用承認期間（５年間）が、令和８年３月３１日で終了するため、令和８年４月１日以降の使用について使用者選定等委員会を開催し、以下のとおり使用者を選定した。</p>													
	<p>１ 委員会名 足立区介護保険事業者支援施設使用者選定等委員会</p>													
	<p>２ 選定目的 現在施設を運営している審査対象法人の業務を適切に検証し評価することにより、引き続き円滑な施設運営を遂行し利用者サービスを向上させることを目的とする。</p>													
	<p>３ 対象施設及び現使用者 介護保険事業者支援施設 ７施設のうち、開設時期が異なる １施設を選定した（他 ６施設は令和 ６ 年度に選定済）。</p>													
	<table><tr><td></td><td>名称・所在地</td><td>現使用者</td><td>代表者</td></tr><tr><td>1</td><td>特別養護老人ホーム中央本町杉の子園 高齢者在宅サービスセンター中央本町 （足立区中央本町 4－1 4－2 0）</td><td>社会福祉法人 杉の子</td><td>理事長 金杉 紀明</td></tr></table>					名称・所在地	現使用者	代表者	1	特別養護老人ホーム中央本町杉の子園 高齢者在宅サービスセンター中央本町 （足立区中央本町 4－1 4－2 0）	社会福祉法人 杉の子	理事長 金杉 紀明		
	名称・所在地	現使用者	代表者											
1	特別養護老人ホーム中央本町杉の子園 高齢者在宅サービスセンター中央本町 （足立区中央本町 4－1 4－2 0）	社会福祉法人 杉の子	理事長 金杉 紀明											
	<p>４ 選定結果 審査の結果、評価点が 6 割以上であったため、現使用者を引き続き使用者として選定する。</p>													
	<table><tr><td></td><td>今回評価点 （1 0 0 点満点）</td><td>評価結果</td><td>前回 比較</td><td>前回（R 2 年度） 評価点 （1 0 0 点満点）</td></tr><tr><td>1</td><td>8 9 . 8 点</td><td>選定</td><td>↑</td><td>7 9 . 8 点</td></tr></table>					今回評価点 （1 0 0 点満点）	評価結果	前回 比較	前回（R 2 年度） 評価点 （1 0 0 点満点）	1	8 9 . 8 点	選定	↑	7 9 . 8 点
	今回評価点 （1 0 0 点満点）	評価結果	前回 比較	前回（R 2 年度） 評価点 （1 0 0 点満点）										
1	8 9 . 8 点	選定	↑	7 9 . 8 点										

5 使用承認対象期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

6 施設使用料

免除（足立区介護保険事業者支援施設条例施行規則第9条による）

7 使用者選定等委員会開催日

令和7年10月15日（水）14時30分から15時30分まで

8 選定評価内容

（1）委員構成（計6名）

種別	氏名	推薦団体等
学識経験者	酒井 雅男【会長】	弁護士
	山中 崇	東京大学医学部附属病院 老年病科特任研究員
	畑井 舞	社会保険労務士
区民関係団体	中川 美知子	人権擁護委員
区職員	伊東 貴志【副会長】	福祉部長
	馬場 優子	衛生部長

（2）評価方法

事前に財務評価を行い、選定等委員会では区が定める「指定管理者制度に関する基本的な考え方について」に準じて作成した選定シートにて評価を実施した。区の評価点及び委員6名（欠席1名）による各合計点の平均を選定等委員会の評価点とした。

（3）選定基準及び審査項目

選定シートは100点満点（1項目5点、全20項目）で、「指定管理者制度に関する基本的な考え方について」の選考基準に準じて、選定委員会の評価点が6割を超えていれば選定とした。

【審査項目】（100点満点/全20項目・各項目5点満点）

	審査項目		審査項目
1	組織マネジメント	11	サービス向上
2	財務状況	12	利用者調査
3	経営理念	13	利用者ニーズ把握
4	運営状況	14	事業計画の内容
5	事業の企画内容	15	健康支援
6	職員研修・教育	16	その他の支援
7	衛生管理	17	トラブル・苦情対応
8	事故対応	18	職員の健康管理
9	危機管理・防災	19	地域との連携
10	個人情報保護	20	指導検査

9 事前財務診断評価結果

評価を税理士に依頼し、財務的安定性及び収益力を基礎に3段階（最適・適合・不適合）で評価を行った。

	法人名	総合評価	評価コメント
1	社会福祉法人 杉の子	最適	経営効率の指標は若干低いですが、収益性を示す指標は標準的であり、特に安全性を示す指標が優良のため、最適と評価する。

10 委員会での主な質問と法人回答

	法人名	委員からの主な意見	法人回答
1	社会福祉法人 杉の子	利用者と職員同士の信頼関係は重要である。過去と比べて離職率はどうか。	令和4年から5年に向け、介護職員のキャリアパスを見直し、人事考課との連動を進めることを全職員に説明して面談を実施した。法人の人事考課に加えて、現場の意見を聞き、施設独自のアレンジを加えて適正な評価を行った。以前は離職率が10%程度であったが、昨年度は介護職員、特養の職員の離職率はゼロであった。

11 公表

厚生委員会終了後、区ホームページで公表する。

12 今後の方針

法人が長期に安定的に運営できるような環境を整え、引き続き利用者の利便性や満足度の向上を図っていく。

厚生委員会報告資料

令和7年12月10日

件名	令和7年度介護保険業務委託評価委員会の評価結果について					
所管部課名	福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課					
内容	令和7年度介護保険業務委託評価委員会を開催したので、以下のとおり評価結果を報告する。					
	1 評価対象					
	(1) 評価対象 介護保険業務委託					
	(2) 受託事業者 パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社					
	2 評価結果（答申）					
	(1) 委員評価の平均点					
	委員評価 平均点		45.4点（50点満点） 前年度：43.8点			
	評価結果		適正に履行されているものと認める（合格）			
	※ 合格ライン：40点以上、条件付き合格ライン：30点以上					
	(2) 評価項目ごとの委員評価平均点					
		評価項目 (評価基準)	評価内容	配点	前年	今回
	1	サービスレベル (窓口待ち時間)	窓口における平均待ち時間は、概ね2分以内を達成している。	5	5.0	5.0 →
	2	個人情報保護及び情報セキュリティ	個人情報保護及び情報セキュリティについて、法令等を遵守している。	10	8.8	9.2 ↗
	3	労働関係法 (現場確認)	労働基準法等の労働関係法令を遵守するための取組を実施している。	10	9.2	9.2 →
	4	事業者の経営の安定性、信頼性 (財務診断)	受託事業者の経営状態は安定しており、信頼性も高い。	5	4.0	5.0 ↗
	5	利用者満足度 (アンケート)	窓口担当の説明は分かりやすかったか。	5	4.2	4.2 →
6	利用者満足度 (アンケート)	サービスの総合的な満足度。	5	4.2	4.0 ↘	
7	身だしなみ (現場確認)	名札をお客様に見えるよう着用し、服装についても区の接客マニュアルを準拠している。	10	8.4	8.8 ↗	
合 計			50	43.8	45.4 ↗	

(3) 委員評価平均点が前年度評価より低かった項目

番号	評価項目	前年度からの変動	理 由
6	利用者満足度 (アンケート)	4.2↘4.0	昨年度のアンケート結果のみの評価は 4.0 で今年度と同様であったが、窓口の様子等を総合的に評価した結果加点があった。今年度は、そういった加点がなかった。

3 開催日

令和7年10月29日(水)

4 委員構成(計5名)

種別	氏 名	役職等
有 識 者 (2名)	森 直美【委員長】	弁護士
	高橋 英一【副委員長】	社会保険労務士
区民代表 (1名)	中村 すみ子	民生・児童委員
区 職 員 (2名)	田ヶ谷 正	区民部長
	伊東 貴志	福祉部長

5 評価方法

(1) 書類審査

「受託事業者からの評価項目に関する報告資料」及び「税理士による財務状況の審査」

(2) 委託業務の現場確認

(3) 受託事業者に対するヒアリング

6 委員会における主な質問と受託事業者の回答

	質 問	回 答
1	鍵の管理を業務責任者が行っているとのことであったが、業務責任者が不在の場合は、どのように運用しているのか。	業務責任者3名で管理しているので、全員が不在となることがないようにしている。

2	区と定期的に定例会を開催しているとのことであるが、その定例会において日頃問題になっている事例などの解決が図られているのか。	現状大きな問題は発生していないが、そのような事案があった場合は、毎月行っている定例会で区と共有し、相談の上、解決を図っていく。
3	お客様との窓口対応で、区職員へのエスカレーションはどうしているのか。	仕様書内の業務であれば、クレームなども含めて対応している。お客様から区職員に直接対応してほしいと要望がある場合は、区と協議の上対処している。

7 評価委員会の意見

- (1) カスハラ対策について、改正労働施策総合推進法や、東京都カスタマー・ハラスメント防止条例等を踏まえ、委託事業者としてカスハラ対策を強化していただきたい。
- (2) 認定業務・審査業務では端末を使用する作業があると思うが、作業効率を高めるためにAIの活用などを検討していただきたい。
- (3) 委託業務エリアの作業スペースが増加しており、労働環境の改善がされていた。

8 今後の方針

評価委員会の評価結果は合格点であり、平均点は前年度を上回ったが、引き続き、受託事業者に対して、より一層、窓口サービスの総合的な満足度の向上を求めていく。